COSMOエコ基金の想い

私たちコスモエネルギーグループが取り扱う石油は、
豊かな暮らしを支えてきた一方で、地球環境に負荷を与えてしまうことも事実です。
そこで私たちは、1990年代からいち早く環境問題に取り組んできました。
そのひとつが、「ずっと地球で暮らそう」プロジェクトとして活動を続けている「COSMOエコ基金」です。
気候変動対応や生態系を守る活動をサポートすることで、貧困など根本的な問題の解決にも貢献してきました。
COSMOエコ基金は、今年度で23年目を迎えました。
会員の皆さまに支えられ、取り組んできたこれまでの活動が、国内外で成果を上げています。
これまでの活動を大切にしながら、その上で、低炭素・資源循環型社会の実現に向け、
再生可能エネルギーに向きあい、同時に、次世代を育てるプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。
私たちのひたむきな想いと取り組みを、社会のために。そして未来のために。
COSMOエコ基金は皆さまとともに歩んでまいります。

COSMOエコ基金の想い。その実現をめざして

中長期ビジョン

COSMOエコ基金は、多様なパートナーシップにより、
気候変動問題に向きあい
「地球と人に配慮した脱炭素志向の
開かれた地域循環社会」づくりに貢献しています。

3つの戦略

- 社会課題解決への新しい取り組み
- コミュニケーションの強化
- 多様なパートナーシップの構築

5つの個別戦略

- プログラム
- コスモエネルギーグループ内連携
- コミュニケーション
- 会員
- パートナー

ご支援いただいている皆さまへ

理事長あいさつ

COSMOエコ基金
理事長

ルゾンカ 典子

日頃より当基金を支えていただいている皆さまへ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
おかげさまで当基金は今年度で23年目を迎えました。今年度は、再生可能エネルギーの地産地消と生態系保全をテーマとする2つのプロジェクトが加わり、環境教育など次世代の育成に向けたプログラムがより充実してきております。
昨年開催された第28回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP28）では、世界の気温上昇を1.5度に抑えるというパリ協定の目標までは隔たりがあり、それに向けた行動と支援が必要であることが強調されました。当基金の活動におきましては、気候変動と生態系の回復・保全（生物多様性）の両面を活動テーマに掲げております。また、私どもコスモエネルギーグループでは、来るべき脱炭素社会を見据えつつ急速なエネルギー転換による影響も考慮しながら、いつの時代も社会の原動力となるエネルギーの安定供給と、関連するサービスの提供を通して、持続的発展（サステナビリティ）の実現をめざしています。
大きな社会課題を考える時でも、自分たちに何ができるかを考え行動する第一歩が重要と考えています。皆さまの貴重な想いを、当基金がしっかりと受け止め、ずっと地球で暮らすために、引き続き活動を推進してまいります。
今後も、皆さまとともに歩んでまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

評議員メッセージ

COSMOエコ基金評議員
サスティナブル経営総合研究所 所長

多田 博之

プラネタリー・バウンダリーという言葉をご存知でしょうか。
これは2009年にスウェーデンのヨハン・ロックストローム博士らが提唱した概念で、一言で言うならば、地球の健康診断表です。気候変動を筆頭に、9つの指標から構成されているのですが、最近の調査で、残念なことに9項目中6項目が劣化していることが判明しました。また、あのSDGsの17項目の中でも、Planetを表す3項目の進捗が全世界的に思わしくないことが、報告されています。地球は今、待ったなしの危機にあるのです。
こうした中、私たちは国や行政、企業にその解決を求めがちですが、そうした「他人事」の姿勢では、危機は決して回避されることはないでしょう。我々一人ひとりがしっかりと危機感を共有し、日々、「自分事」として行動してこそ、小さな灯が見えてくるかもしれません。
COSMOエコ基金がそのためのきっかけ、一助となることを願ってやみません。